

竹の水鉄砲

プログラムの概要・ねらい

身近な自然の素材である竹を使った水鉄砲を作る。自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する喜びを体験する。また、竹の水鉄砲での昔遊びも体験することができる。

場所	クラフト室 実習室 ピロティ	
時間	1時間30分 ～2時間	
値段	料金表参照	
季節	年間	
人数	各部屋 席数 48	
準備物	【利用者】 ぞうきん、新聞紙、救急用品、活動に適した服装、(ポスカ、油性ペン) 【自然の家】 材料(竹2種類、輪ゴム、ウエス、スポンジ)、キリ、ハサミ、バケツ、針金	

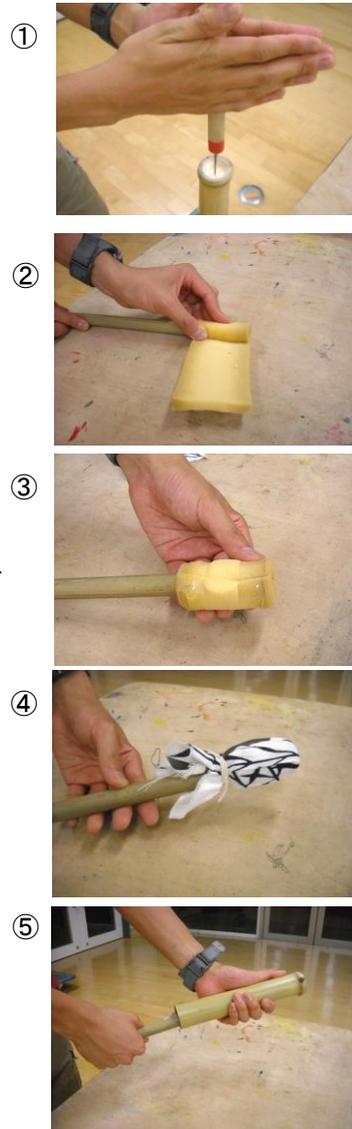
①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付にて受け取る。※材料数を確認する。窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 作り方の説明
 - 0:10 本体用の太い竹の節の中央にキリで1箇所穴を開ける。(写真①)
※万力を使う場合には、締めすぎ注意!(竹が割れる)
 - 0:30 ピストン用の細い竹にスポンジを巻き付ける。(写真②)
 - ・スポンジを引っ張りながら巻き付ける。
 - ・本体の竹の筒にさして、ピッタリになるくらいまでスポンジを巻き、余った部分は切る。
 - ・スポンジを輪ゴムで固定する。(写真③)
 - ・スポンジを巻いたピストン用の竹に上からウエスをかぶせ、輪ゴムを巻きつけて固定する。(写真④)
 ※輪ゴムの結び目は、ウエスの一番下にするとよい。
 - 0:50 バケツに水を入れて水の出具合を確認する。(写真⑤)
 - ・水が漏れたり、ピストン用の竹が入らない場合には、スポンジの巻き具合を調整していく。
 ※スポンジが竹筒の中で取れてしまう場合があるので気を付ける。
取れてしまった時は、針金でつついて取り出すようにする。
 - 【応用】 ポスカや油性ペンで絵や文字を書いてもよい。
※ポスカや油性ペンを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
 - 1:20 片付け
 - 1:30 終了
- ※作成後、野外活動ゾーンや自然環境学習センター中庭等で、遊ぶこともできる。



②実施の流れ(つづき)

【作った竹の水鉄砲活用方法例】

自然環境学習センター中庭・ピロティアー・野外活動ゾーンなどを使い竹の水鉄砲で遊ぶこともできる。

・的置き場：クラフト室

※数に限りがあるため、必要に応じて持参ください

<フラッグ戦>

[ルール]

・2つのチームに分かれて、それぞれの陣地にフラッグ（目印）を立てます。

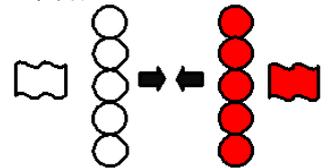
勝利条件：相手チームのフラッグを獲得・敵チームの全滅

敗北条件：敵にフラッグを取られる・チームの全滅

・水がかかったら大きな声で「ヒット」言い、フィールドから出る。（自己申告）

※移動の際には、他の人の邪魔をしないようすみやかに移動する。

・水がかかっているのに、ゲームを続行することは禁止。



<センターフラッグ戦>

[ルール]

・2つのチームに分かれて、フィールドの中央に缶フラッグ（目印）を横にして置く。

スタートの合図で両チームは、中央の缶フラッグを自陣の色が上になるように立てる。

制限時間内に、より多くの缶フラッグを自陣の色にしたチームの勝利。

※勝利条件：制限時間内に、より多くの缶フラッグを自陣の色にする。

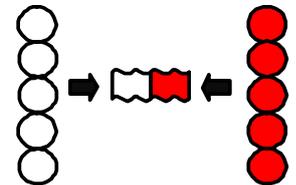
・制限時間は、5～10分を目安に行う。必ず5～10分休憩をいれる。

・水がかかったら大きな声で「ヒット」宣言し自陣へ戻る。仲間とハイタッチで復活。

※仲間とハイタッチするまでは動けません。

※他の人の邪魔にならないようすみやかに移動する。

・水がかかっているのに、ゲームを続行することは禁止。（ゾンビ行為）



③後片付け

工具等を元へ戻し、ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。

（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。

クラフト室の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。